

きくち

KIKUCHI



基本理念

この病院で最も大切なのは患者さんです

The Most Important In This Hospital is the Patient.

安心して相談できる心と脳の専門医療を目指します

人権を尊重し、患者さんが安心し、納得する精神医療・ケアを提供する
説得力のある最新の医学的根拠に基づいた治療を目指す
政策医療を中心に高度の医療サービスを提供する
高度・先駆的な精神医療を模索し、研究・教育・研修に力を入れる
自然に囲まれた落ち着いたアメニティーを提供する
地域の医療機関と協力して心の健康作りをめざす

M E N T A L
Mental Care
EBM
National Policy
Teaching
Amenity
Local Network

Contents

新年のご挨拶	2
高校生の1日看護体験	3
還暦のお祝い会を実施しました	3
DPAT紹介	4
災害机上訓練【患者受け入れ訓練】を実施しました	4
第3回作品展示会	5
令和5年度 第72回 西日本認知症高齢者対策研修を受講して	6
第11回アジア児童青年精神医学会ポスター賞受賞報告	6
令和5年度永年勤続表彰式	7
医療安全管理室・教育担当看護師長室の紹介	7
外来診療のご案内	8

発行所：〒861-1116 熊本県合志市福原208
独立行政法人国立病院機構 菊池病院
編集発行：広報誌編集委員会



ホームページ
QRコード



新年のご挨拶

令和六年

院長 山下建昭



明けましておめでとうございます。皆様、新年を如何お迎えでしょうか。本年は辰年です。干支は「十干」と「十二支」からなり、2024年の十干は「甲」、十二支は「辰」であり、干支は「甲辰」となります。十干の「甲」は草木が成長していくこと表す意味があり、どんどん勢いを増していくことを表します。十二支の「辰」は草木の形が整った様子を意味しています。即ち「甲辰」には成功という芽が成長していき、姿を整えていくという意味合いがあるようです。菊池病院としまして、これからの成長をさらに形作っていく年、努力すれば実る年にして参りたいと思います。

新型コロナウイルス感染症は、昨年5月で5類となり、特別な対応を要しなくなりました。しかし、インフルエンザ同様にクラスターを発生させない注意が必要であることには変わりはありません。世間ではマスクをしない人も増えてきましたが、病院ではまだまだ感染リスクに注意して取り組んでいかなければならない状況です。病院での面会時には、ご不便を感じさせることがあるかもしれませんが、どうぞご理解とご協力の程をお願い申し上げます。

世界的には、紛争が絶えません。ウクライナ紛争に終結の気配はみられず、パレスチナの惨状には心が痛むばかりです。我が国は、戦後80年間、幾多の自然災害には見舞われましたが、戦火に会うことなく平和に暮らすことができました。大変有難いことです。この

平和が恒久的であるように大切にしたいと思います。

国内での現在の大きな問題は、少子高齢化であり、労働人口の減少だと思われまます。2050年には2000万人減少し、総人口は約1億となる人口予想もあるようです。高齢化は進み、2040年頃までは、医療福祉関係の需要は増加するものと思われ、それに対応するためのサービス提供を考えていく必要があります。本年度の診療報酬改定では、医療・介護・障害福祉にてプラス改訂となり、それが人材確保に効果的であることを願います。「働き方」改革推進の中でどう対応していくかも難題であります。医療DXで上手に対応しなければと考えます。菊池病院でもいよいよ電子カルテを導入する年となりました。働きやすくするためにうまく導入することが不可欠と考えます、皆で協力して作り上げていきたいと思ひます。国立病院機構のセーフティネット系の病院として、今年も地域に貢献して参りたいと思ひます。皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。





高校生の 1日看護体験

副看護部長 南利 朱美

今回、「高校生の1日看護体験」で4名の高校生の皆さんを受け入れました。

認知症治療病棟での体験ができるように準備しました。感染対策に十分配慮しながら、日常生活機能訓練の中のレクリエーション活動に参加したり、学生さん自身で血圧測定や聴診など体験をして貰いました。

1日看護体験後、学生さんからは「この病棟は楽しかった」「1人1人への声かけや気配りがよかった」等の感想を頂き、4名の方を無事に受け



入れることができほっとしました。また、患者さんも職員も若いエネルギーをもらうことができ、有意義な時間を過ごせたと思います。改めて当院の強みや自分達の看護とは何かを考える機会になったと思います。このような機会を持つことができ感謝致します。

還暦のお祝い会を実施しました

主任児童指導員 末永 紀子

重症心身障がい児(者)病棟では、療養中の利用者様に対して季節に応じた行事を実施しています。七夕祭やクリスマス会等、その時期ならではの催し物として、行動障害をお持ちの方にも目や耳からも雰囲気を感じていただけるような会になるよう計画・実施しています。

今年度は還暦を迎えられた方のお祝い会を開催しました。病院幹部の前で赤いちゃんちゃんこを着て赤い帽子を被り参加される姿は、

日頃とは異なる雰囲気戸惑いながらも一生に一度の会と感じとられているようでした。利用者様の状態に応じたささやかな会ではありましたが、人生の節目を一緒にお祝いすることができましたことを大変嬉しく思います。これからも利用者様の療養生活が潤いと活気に満ちたものになるように、創意工夫を行いながら、行事・日中活動の提供に取り組んで参ります。



還暦のお祝い会



七夕会



クリスマス会

DPAT 紹介

精神科医師 西尾 啓

精神科病院、周辺地域が震災によって被害を受け、保護室が倒壊し使用できなくなったら、水電気食料の供給が十分でなくなったら、医師・看護師数が足りなくなったら、避難所で不穏状態となってしまった方がいたら・・・

私たち DPAT（災害派遣精神医療チーム）は、そのような現場へ直ぐに駆けつけ行動ができるよう DMAT（災害派遣医療チーム）と共に日々訓練を行っています。活動拠点本部の設営、携帯アプリを使った情報収集、他県から派遣された DPAT と合流後どのような役割を持ち動くか等、毎回緊張感を持ちながら研修を積んでいます。

出勤する機会がないことが一番ですが、いざという時にスムーズな動きができるよう、今後も訓練を重ねていきたいと考えております。



災害机上訓練【患者受け入れ訓練】を実施しました

副看護師長 小田 泰介



令和5年10月24日（火）に災害訓練【患者受け入れ訓練】を実施しました。今回の訓練を行う理由として、当院は熊本県から令和4年3月10日に【熊本県災害拠点精神科病院】へ指定されました。皆さんご存知でしたか？その災害拠点精神科病院の役割の一つが被災地内の患者の受け入れになります。その役割を果たせるよう、今回訓練を行いました。

訓練では、シナリオに沿って、トリアージ班、物品準備班、患者受け入れ班に分かれグループ討議を行いました。グループ内から活発な意見が出され、具体的な内容まで確認することができました。いつ災害が起こるか分からないため、発災時すぐに対応できるよう、これからも平時から訓練を重ねていきたいと思っております。

第3回作品展示会

10月23日～11月2日に「作品展示会」を開催しました。2021年から始めた作品展示会も今回で3回目となりました。今年も院内からたくさんの作品を出品して頂きました。最終日に行われた表彰式には、各病棟とデイケアから代表の方が参加され、和やかな雰囲気の中、各賞の発表があり、選ばれた方々からは喜びの声が上がりました。今回はその中から、院長賞、看護部長賞、事務部長賞に選ばれた3作品をご紹介します。



院長賞
南1：通潤橋（国宝）



看護部長賞
南2：名月と熊本城



事務部長賞
DC：卵の殻アート"SL人吉"

開催中は病棟や外来の患者さん、デイケアの利用者さん、ご家族を中心に多くの方に足を運んで頂きました。来場された方から作者へのメッセージを募集したところ、たくさんの温かいメッセージを頂きました。中には「とても丁寧に作品に対して心をこめて創作されている、おひとりおひとりのお姿がみえてくる様でした。ありがとうございます！」とのメッセージを寄せて頂いた方もおられました。作品を見て頂いた方に、一生懸命作っておられた作者の皆さんの思いが伝わっていたことを、大変うれしく思います。作品の制作に携わって頂いた方々、会場へお越し頂いた方々、皆様のおかげで本年も大いに作品展示会を盛り上げることができました。本当にありがとうございました。

第3回 みんなの作品展示会

2022

会場 菊池病院 多目的棟

時間 9:00～16:00

目次 令和5年10月23日～11月2日

☆屋内展示会場 9:00～16:00開場

☆屋外展示会場 常設開場

※注意事項
ご来場の際は、マスクの着用及び手指消毒の御協力をお願いいたします
感染状況によっては開催を急遽中止させて頂くこともあります。
※写真は昨年度出品作品です。

お問い合わせ
国立病院機構 菊池病院
096-248-2111(代)
リハビリ科 担当：塚原・吉田

リハビリテーション科



令和5年度 第72回

西日本認知症高齢者対策研修を受講して

南1病棟看護師 原住 建

これまで、看護師として19年、認知症病棟に配属、勤務し4年が経過している。今回の研修を受講した理由は、自身の看護の振り返りと、新たな知識を習得するために、計3日間のWEB研修に参加した。

講師の方々の事例も含めた分かりやすい講義内容や、施設の研修参加者達との積極的な意見交換は、自身の看護の振り返りと共に新たな学びに繋がったと実感している。しかし、主役はあくまで「患者様」であるため、今回の研修での学びや知識のみにとどまらず、現場での実践に活かさなければならぬと考えている。私だけではなく、周

囲のスタッフと情報共有し、患者様のさらなる安心・安全なケアの向上に努めたいと考えさせられた研修であった。



第11回アジア児童青年精神医学会ポスター賞受賞報告

精神科医師 田中 恭子

2023年5月26～28日に京都で行われた、The 11th Congress of the Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions（第11回アジア児童青年精神医学会）にてポスター発表を行いました。私が令和元年より当院で取り組んできた、自閉症スペクトラムをもつ方々への支援法である構造化のワークショップについてまとめたもの

です。ワークショップ前後のスタッフの意識の変化や負担などを明らかにしました。Best Poster Award（ベストポスター賞）を受賞し、共に取り組んだ職員も評価していただいた結果ですので、嬉しく思いました。今後も実践や研究に頑張って取り組んでいきたいと思えます。



令和5年度永年勤続表彰式

当院では今年度、30年以上勤務者1名、20年以上勤務者6名の計7名の職員を表彰し、山下院長より賞状、記念品が授与されました。



30年 表彰

20年 表彰

副看護部長	南利 朱美
-------	-------

院長	山下 建昭
看護師長	三隅 夕子

副作業療法士長	吉田 和史
主任児童指導員	末永 紀子

看護師	岩見 啓史
看護師	石田 薫



医療安全管理室・教育担当看護師長室の紹介

医療安全管理係長と教育担当看護師長が在室しています。医療安全管理係長は、医療安全に関する現場の把握や医療安全に関する職員教育等を行っています。教育担当看護師長は、看護部の方針に基づき研修の企画やOJTでの教育担当者の支援を行っています。

患者さんは高齢や疾患特性、抗精神病薬の影響等、様々な背景があるため、個別性を持ったリスク防止や専門性を持った看護が重要となります。日常生活で起こりうる危険を未然に防ぐために、職員と共に事例分析を行い、医療安全に関する知識、技術の充実に努めています。また、患者さんが疾患を抱えながらも、強みを活かしながら生活し、地域に戻っていくためのケアが出来るよう、専門性の向上に繋がるための教育を新人だけでなくベテラン職員に向けても行っていきます。



教育担当看護師長
増田 佳奈

医療安全管理係長
高崎 ゆかり



外来診療のご案内 GUIDANCE OF OUTPATIENT CARE

(令和6年1月1日現在)

項目	月	火	水	木	金
新患	田中亨		三浦 (午前)		渡邊
	西尾		(西尾)		
もの忘れ 外来新患	(塩沢)	塩沢	塩沢		
子供外来	田中恭 (再来) (午後※第1以外)		田中恭 (再来・新患) (午後)		田中恭 (再来) (午前)
再来	塩沢	宮谷	渡邊	坂西	田中亨
	三浦 (午後)	山下	両角	西尾	塩沢
			三浦 (午後)	和田	
				島本	山下 (午前)

【専門外来】

- ◆ 老年期・・・担当医：塩沢
- ◆ 物忘れ外来・・・認知症予防と認知症に対する専門外来を行っております。
- ◆ MRI検査・・・当院にてMRI検査を受けることができます。

【受診方法】

- ◆ 診察については予約制となっております。
- 初診の方：地域医療連携室で予約を行っております。電話番号は096-248-2111
- 再診の方：診察後、次の診察日をご予約下さい。予約の無い方は外来に電話で予約して下さい。

【診察時間】

- 受付 8:30～15:00
- 診療 8:30～17:00
- 休診 土・日曜、祝祭日、振替休日、年末年始（12月29日～1月3日）



交通機関

- JR豊肥本線三里木駅下車
タクシー10分
- 熊本空港よりタクシー約20分


独立行政法人 国立病院機構 菊池病院
 〒861-1116 熊本県合志市福原208
 TEL 096-248-2111 FAX 096-248-4559
<https://kikuchi.hosp.go.jp/>